

平成 26 年度 十和田市立中央病院 臨床研修プログラム概要

研修プログラムの特色

二次医療圏の中核病院として豊富な症例を経験し、初期医療、専門的医療、救急医療、緩和ケアを含めた包括的がん医療について重点的に研修を行う。また、慢性疾患や高齢患者およびがん終末期患者の在宅医療、リハビリテーション、社会復帰などについても、総合的な管理計画を立案できるよう研修する。

臨床研修の目標の概要

新医師臨床研修制度の基本理念に基づき、医師としての人格の涵養に努め、幅広い基本的臨床能力を修得し、頻度の高い疾患や病態およびプライマリ・ケアに対応できる医師を育成する。また、チーム医療の意義を理解し、そのリーダーとしての役割を認識できる医師を育成する。

* 研修の内容及び目標は、臨床研修プログラム（別紙）における到達度の各項目による。

プログラム責任者の氏名

医療局 外科 診療部長 杉 田 純 一

臨床研修を行なう分野並びに当該分野ごとの研修期間及び臨床研修協力施設

	研修分野	期間	研 修 病 院	備 考
1 年目	内 科	6 ヶ月	十和田市立中央病院	消化器・呼吸器・循環器 内科をローテーション
	救急部門	2 ヶ月	〃	連続した2 ヶ月。1 ヶ月分 は救急患者、救急車搬入時 に優先的に呼出
	選択必修科	4 ヶ月	十和田市立中央病院 五戸総合病院(産婦人科) 青森県立中央病院(産婦人科) 国立病院機構弘前病院(産婦人科)	外科、麻酔科、産婦人科、 小児科、メンタル科から2 科目以上選択
	選 択 科			
2 年目	地域医療	1 ヶ月	小嶋外科胃腸科医院 十和田市立中央病院 十和田湖診療所	小嶋外科胃腸科医院1日、 十和田湖診療所1~2週間、 残りの期間は総合診療科 で在宅医療等を研修
	地域保健	1 ヶ月	上北地域県民局地域健康福祉部保 健総室(上十三保健所) 介護老人保健施設 みのり苑 十和田市立中央病院	保健所1週間、介護老人保 健施設1日、残りの期間は 総合診療科、地域医療連携 室で地域医療を研修
	選択必修 科または 選 択 科	10 ヶ月	十和田市立中央病院 五戸総合病院(産婦人科) 青森県立中央病院(産婦人科) 国立病院機構弘前病院(産婦人科)	産婦人科の研修期間は 実施機関による

【備考】

- ・ 選択科は、内科、外科、総合診療科、泌尿器科、産婦人科、整形外科、メンタル科、小児科、脳神経外科、耳鼻咽喉科から選択。なお、到達目標に未達成項目がある場合は、到達目標達成のために必要な診療科を割り当てることがある。

研修医の指導体制

研修分野		医師	職名	指導医	備考
内科	消化器	高井 哲史	診療部長		診療科代表
		佐藤 守彦	診療部長		消化器病センター長
	呼吸器	工藤 優	副院長		診療科代表
	循環器	小山 滋豊	診療部長		診療科代表
		藤原 崇之	科長		
		東山 優美子	医員		
外科		丹野 弘晃	院長		診療科代表
		杉田 純一	診療部長		プログラム責任者 研修管理委員長
		成島 陽一	診療部長		
		小田 聡	科長		
		菊地 大介	科長		
		櫻井 毅	医員		
麻酔科		深田 祐作	診療部長		診療科代表 救急室長
		荒木 功	非常勤		
小児科		小田 誠	診療部長		診療科代表
		工藤 雅庸	科長		
産婦人科		富浦 一行	副院長		診療科代表
		井戸川 敏彦	副院長		五戸総合病院
		森川 晶子	部長		青森県立中央病院
		尾崎 浩志	部長		国立病院機構弘前病院
メンタルヘルス科		谷地森 康二	診療部長		診療科代表
		竹内 淳子	診療部長		
総合診療科	がん総合診療	吉村 純彦	診療部長		
		石橋 和也	医員		
	総合内科	宮川 晃	診療部長		
整形外科		田澤 浩司	副院長		診療科代表
		木村 由佳	科長		
脳神経外科		善積 威	診療部長		
		赤坂 健一	診療部長		診療科代表
		竹田 哲司	科長		
眼科		関野 尹夫	非常勤		
耳鼻咽喉科		藤原文明	診療部長		診療科代表
泌尿器科		寺井 康詞郎	診療部長		診療科代表
		成田 直史	科長		
皮膚科		菅原 正幸	診療部長		診療科代表
放射線科		目時 隆博	科長		診療科代表
健診センター		畑中 光昭	室長		

研修医の募集定員並びに募集及び採用の方法

- ・プログラム名 十和田市立中央病院臨床研修プログラム
- ・プログラム番号 030801301
- ・研修期間 平成26年4月1日から平成28年3月31日までの2年間
- ・募集定員 6名(インターネット等による公募)
- ・マッチングへの参加 有
- ・募集期間 平成25年9月末日まで(必着)
- ・応募必要書類 申込書・履歴書・卒業(見込み)証明書
成績証明書
当院指定様式(ホームページからダウンロード可)
- ・面接・病院見学 5年次修了後の春休み以降、病院見学時に面談をおこないます。マッチング申込をされる方は、この際の面談結果が面接試験結果となります。病院見学を希望する日時、診療科等をお知らせください。調整のうえ日時をお知らせします。宿泊施設、見学時の昼食は無料で提供しています。5年次の6月以降であれば、当院の規定に沿って交通費が支給されます(上限4万円)。
- ・選考方法 面接・書類選考(履歴書等)
医師臨床研修マッチングによる

問い合わせ先

〒034-0093 青森県十和田市西十二番町14-8

十和田市立中央病院 医療支援室1 東

電話 0176-23-5121 内線 2350

FAX 0176-23-2999

E-mail : tooru_higashi@city.towada.lg.jp

ホームページ : <http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/>

処遇

- ・給与 1年次 57万円(税込/月額) 諸費用天引き前

2年次 60万円(税込/月額)諸費用天引き前
宿日直手当、時間外勤務手当は別途支給

- ・身分 嘱託職員
- ・保険 社会保険
- ・年金 厚生年金
- ・雇用保険 あり
- ・災害補償 労働者災害補償
- ・医師賠償責任保険 病院加入有り 個人加入は任意
- ・宿舎 単身用、世帯用有り(公舎料4,100円~15,000円程度)
公舎を使用しない場合、住宅手当支給(上限27,000円)
- ・勤務 月~金 8:30~17:00 休日は土、日、祝、年末年始
- ・休暇 年次有給休暇 1年次 13日、2年次 20日
その他、夏季休暇、忌引き、出産休暇(産前、産後)、育児休業
- ・講習会、研修会への参加 可(旅費を年18万円を限度に支給)
- ・当直 1年次 月3回の副直 2年次 月4回の単独日当直
日当直手当支給
- ・健康管理 定期健診(年1回)、電離放射線(年2回)、各種ワクチン等あり
- ・病院内での個室 個人ブース設置(医局内オープンスペース)

協力病院、協力施設の名称及び研修実施責任者等の氏名

施設名・病院名	研修の内容	期間	研修実施責任者
---------	-------	----	---------

			指導医・指導者		
協力病院	国民健康保険 五戸総合病院	産婦人科	1ヵ月	蝦名 宣 男	院長
				井戸川 敏 彦	副院長
	青森県立中央病院	産婦人科	1ヵ月	安 保 亘	副院長
				森 川 晶 子	部長
	国立病院機構 弘前病院	産婦人科	1ヵ月	佐 藤 年 信	院長
				尾 崎 浩 志	部長
協力施設	上北地域健康福祉 保健総室 (上十三保健所)	地域保健	1週間	工 藤 淳 子	保健総室長
				"	"
	小嶋外科胃腸科 医 院	地域医療	1日	小 嶋 泰 彦	院 長
				"	"
	介護老人保健施設 みのり苑	地域保健	1日	山 本 孝 司	理事長
				"	"
	十和田湖診療所	地域医療	1週間 又は 2週間	米 田 博 輝	診療所長
				"	"